



市P連PRESS

上越市PTA連絡協議会だより
「会報」 第20号
平成27年3月1日発行
URL <http://www.j-shipren.org>



大嶋会長のあいさつ



村山市長



来賓の方々

「生まれてきてありがとう」という基本的信頼感を親から受けることで、子どもは生きていけるのだそうです。この感覚は2歳ごろまでに形成されるとされてきましたが、最近の研究では生後40分で決まってしまうともいわれているのだそうです。

昇する一方で、怒る家庭では下降すると耳のイタい話も聞くことができました。(そう言われても、なかなか「褒め続ける家庭」にはなれませんが・・・)

「お子さんが、赤ちゃんの頃にたくさん触れ合うことが大事なのヨ。えっ？もう大きくなっちゃった？大丈夫よ！小学生でもオッ！❤️
まあ、中学生ぐらいになるとちょっと難しいけどね。とにかく、女性の『共感力』で、子どもを育んでちょうだい♪」

すというホルモン・オキシトシンは子が母と触れ合うことにより分泌されるのですが、そのために必要な時間が女の子では10秒ほどで充分なのに対し男の子は10分〜50分も必要で、かなりの男女差があるのだそうです。



祝賀会にも多くの方々に
お祝いをしていただきました

10周年記念 式典・文化講演会・祝賀会を開催しました

「上越市教育の日」となる11月1日(土)、上越市小中学校PTA連絡協議会10周年記念式典が上越文化会館にて開催されました。また、上越市との共催で「尾木マ

「学校での授業の繰り返し、家庭学習じゃないのよ。例えば漢字なら、意味や成り立ちを親子で調べてみたりすることが大切なの。そうやって、洞察力や見極める力を養うような学びをすることが、とっても大事♪そういう学びの方が、お子さん達もお母さん達もきっと楽しいわよ❤�」

も笑い、お母さんが怒る家庭では子どもも怒りっぽくなると指摘。褒め続ける家庭の7割で学力が上

マ流 共感子育て」と題し、教育評論家の尾木直樹さんの講演会が行われました。
男女の脳の働きの差異を、問題を解決する『解決脳』(男性)・物事を共感する『共感脳』(女性)とし、共感してくれるお母さんがいるリビングで学習する方が、勉強部屋に閉じこもるよりも学習効果が上がることを分かりやすく説明していただきました。



講師の
尾木直樹氏

サプライズ
入場しました



10周年記念事業

平成26年8月9日
つなひき大会 上越市総合体育館

平成26年11月1日
式典 上越文化会館
文化講演会 (上越市・上越教育大学共催)
「尾木ママ流 共感子育て」
尾木 直樹 氏 (教育評論家)

祝賀会 ホテル ハイマート



小学生の部優勝 東頸ブロック

中保倉小学校 杉田 大夢

「やったー!!優勝だー!!」ほくち東頸ブロック小学生チームが優勝したつなひき大会。各学校から代表が集まって、いっしょけんめいつなを引きました。一回戦、二回戦と勝ち進み、決勝戦は、とてもドキドキしました。けれども、全員が力を合わせたから、勝てることができました。優勝できてとてもうれしかったです。

小学生の部 優勝 東頸ブロック
準優勝 頸南ブロック
第3位 東部ブロック
頸北ブロック

中学生の部 優勝 北部ブロック
準優勝 東頸ブロック
第3位 頸南ブロック
南部ブロック

一般の部 優勝 東部ブロック
準優勝 頸南ブロック
第3位 北部ブロック
南部ブロック



中学生の部優勝 北部ブロック

城北中学校 三年 福島 諒大

市P連綱引き大会では、チーム一丸となり、優勝できた喜びと共に、地域の絆を感じることができました。僕たちの北部ブロックは、城北中学校と春日中学校が合同で一つのチームとなりました。当日に初めて顔を合わせるといふこともあり、お互いに緊張していました。しかし、大人の方から励ましていただき、団結して試合に臨むことができました。大会を通して、地域や年齢を超えた絆の深さを学ぶことができ、とても良い経験になりました。



一般の部優勝 東部ブロック

高士小学校PTA 西條 武史

東部ブロックチームは、雄志中、戸野目小、上雲寺小、諏訪小、高士小からなります。私は一般の部のキャプテンで取りまとめ役として、チーム編成や試合へ移動する時の誘導や人数の確認をしていましたが、皆さんの協力のおかげで特に何の問題もなくスムーズに進めることができました。

一般の部のチームが優勝できたのは、初めて会ったばかりのいわば寄せ集めのチーム だったのですが、まるで普段から一緒に何度も練習しているかのような息の合った チームワークを引き出せたからだと思います。

この大会は今回限りとなりましたが、また機会があれば一緒に戦いたいです。



選手宣誓



総勢、1000人程集まりました



スタッフ一同

平成26年8月9日
上越市総合体育館

10周年記念 つなひき大会



平成26年度 優良PTA文部科学大臣賞 受賞

この度、国府小学校PTAが優良PTA文部科学大臣賞を受賞いたしました。

昨年度、国府小学校は創立百四十周年を迎え、後援会、同窓会、体育文化振興会、PTAの四団体が中心となつて、子ども達の思い出に残ることをと検討してきました。中でも子ども達からの言葉をまとめた曲、記念式歌「海色バトン」が出来上がりました。記念式典当日には、言葉を考えて卒業生も参加して7学年での発表。素晴らしい歌声を聴くことができました。

また、公益社団法人上越青年会議所様からもご協力いただき、スポーツゴミ拾いを開催していただきました。地域の方にも参加していただき楽しくきれいになる海岸清掃。文化祭では就学前の子ども達にバルーンアートでのお出迎えを行っていただきました。

先輩方の足元にも及びませんが、子ども達の元気な声が聞こえる活動を継続していければと思います。

国府小学校PTA会長 齊藤知之



平成26年度 日本PTA全国協議会会長表彰 受賞

この度、日本PTA全国協議会会長表彰 団体表彰を頂くことができました。

受賞の活動内容の一つは、「防災宿泊体験」です。災害時等の困難な状況の中でも、子どもたちがたくましく生き抜くために必要な体験活動を準備し、子どもたちの防災意識を高め、他者を思いやる心や行動できる力を育みたいと願い、週休日に「学校へ泊まろう！防災宿泊体験」を1泊2日で開催しました。PTA組織を中心に企画・運営し、通常の避難訓練だけではできない「煙体験」「救助袋脱出体験」「炊き出し体験」「避難所設営訓練」「暗闇物資搬送訓練」「災害備蓄食品試食会」等、関係機関と連携してダイナミックに取り組むことができました。また、もう一つには、「戸野目っ子応援団」の一員として多くのPTA会員が、各種行事（運動会、マラソン大会、文化祭、スキー教室）、環境づくり（ゲレンデづくり、図書館・読み聞かせ・子どもの見守り）、学習支援（米作り、野菜作り、地域探検）等にボランティアとして参加し、教育活動を支えていることです。

全ての会員の皆様、そして、元会員の皆様、地域の皆様に深く感謝申し上げます。皆様方が築き上げられた伝統と惜しめない協力、支援風土があつての団体表彰です。同時に推薦をいただきました、市P連、県P連の皆様にご感謝申し上げます。

戸野目小PTA会長 相馬祐一



発行 上越市中小学校PTA連絡協議会
編集 広報委員会

委員長	武田直樹	(大町小学校)
副委員長	近藤敏明	(雄志中学校)
委員	小林雅史	(高田西小学校)
	大島隆一郎	(附属小学校)
	大島良雄	(直江津東中学校)
	竹内昌彦	(宝田小学校)
	福井克利	(浦川原中学校)
	小田和章	(吉川中学校)
	藤澤明彦	(頸城中学校)
	小林忍	(板倉中学校)
本部担当	滋野康賢	(東本町小学校)

問合せ 事務局
TEL 025-545-9203 FAX 025-545-9208
E-mail jyou-pta@joetsu.ne.jp

編集後記

9月27日に糸魚川にて行われた県P連大会では、地元・市振小の生徒によるお菓子の販売や会場を圧倒する子不知(こしらず)太鼓のアトラクションに、子どもたちの凄さとそれを支えるPTAの重要性を感じることができました。来年は胎内市での開催ということで少し遠くなりますが、今年以上の参加で県P連を盛り上げていければと思います。ご協力よろしくお祈いします。

各役職の皆様方、一年間大変お疲れ様でした。ありがとうございました。